

TORO®

タンク洗浄リンス・キット

マルチプロ 1750 ターフスプレーヤ

モデル番号41208-シリアル番号 314000001 以上

オペレーターズマニュアル

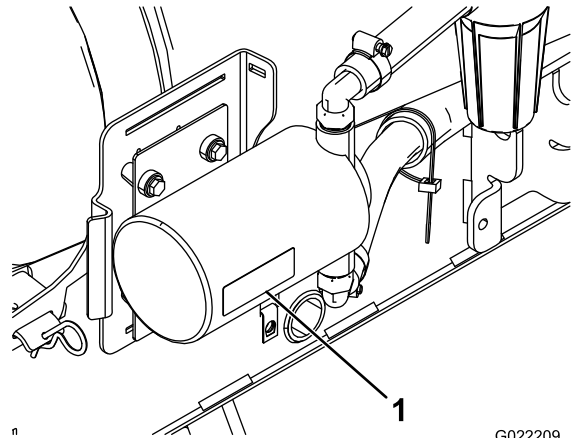
注 前後左右は運転位置からみた方向です。

▲ 警告

カリフォルニア州 第65号決議による警告

米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

米国カリフォルニア州では、この製品を使用した場合、ガンや先天性異常などを誘発する物質に触れる可能性がありますとされております。



G022209

図 1

1. 銘板取り付け位置

このキットは、液剤散布期のタンクやそのホースに残っている薬剤をすすぎ洗いのための装置です。このキットは、芝生に液剤を散布するための専用装置のための補助装置（アタッチメント）であり、そのような業務に従事するプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。

この製品は、関連するEU規制に適合しています；詳細については、DOC シート（規格適合証明書）をご覧ください。

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解してください。オペレータや周囲の人の人身事故や製品の損傷を防ぐ上で大切な情報が記載されています。製品の設計製造、特に安全性には常に最大の注意を払っておりますが、この製品を適切かつ安全に使用するのをお客様の責任です。

弊社に直接おたずねをいただく場合：www.Toro.com
製品・アクセサリに関する情報、代理店についての情報、お買い上げ製品の登録などを行っていただくことができます。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマー・サービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。モデル番号とシリアル番号を刻印した銘板の取り付け位置は図1の通りです。

モデル番号 _____

シリアル番号 _____

安全について

この他、散布車両のオペレーターズマニュアルに記載されている安全事項や操作手順もよくお読みください。



薬剤の安全管理

▲ 警告

この散布装置で取り扱う農薬は人体や動植物、土壌などに危険を及ぼす可能性があるので取り扱いには十分注意すること。

- ・ 自分自身の安全を守るために、農薬を取り扱う前に、容器に張ってあるラベルや安全データシートなど取り扱い上の注意をよく読んで理解し、薬剤メーカーの指示を守る。たとえば、保護めがね（ゴーグル）、手袋など、薬剤との接触を防止し危険から身を守ることでできる適切な保護対策を講じる。
- ・ 散布する薬剤は一種類とは限らないので、取り扱っているすべての薬剤に関して注意事項を必ず確認する。
- ・ 上記安全確保に必要な情報が手に入らない場合には、この装置の運転を拒否すること！
- ・ 散布装置の取り扱いを開始するまえに、その装置を前回使用したあとに薬剤メーカーの指示に従って3回のすすぎ洗いや必要な中和処理が行われたかを確認し、さらに、すべてのバルブについてそれぞれ 3 回の開閉操作を行うこと。
- ・ 十分な量の水と石鹼を身近に常備し、薬剤が皮膚に直接触れた場合には、直ちに洗い流すこと。
- ・ 薬剤の取り扱いに関する適切な教育訓練を受けてください。
- ・ 目的にあった適切な薬剤を使用してください。
- ・ 薬剤を安全に使用するために、薬剤メーカーの指示を必ず守ってください。
- ・ 薬剤の取扱いは換気のよい場所で行ってください。
- ・ 作業にあたっては保護めがね（ゴーグル）など、メーカーが指定する安全対策を必ず実行してください。皮膚の露出をできるだけ小さくしてください。
- ・ いつでも、特に薬剤タンクに薬液を作るときに、真水を手元に用意してください。
- ・ 薬剤を取り扱い中は、飲食や喫煙をしないでください。
- ・ 作業終了後は直ちに手足や露出部をよく洗ってください。
- ・ 使用しなかった薬液や薬剤容器は、メーカーや地域の規則に従って適切に廃棄してください。
- ・ 薬剤や薬剤からの蒸気は危険です。絶対に、タンクの中に入ったり、頭を入れたり、タンクの上に顔をさらしたりしないでください。
- ・ 国や自治体の法律や規則を守って散布作業を行ってください。

組み立て

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	－	マシンの準備を行います。
2	すすぎタンクのブラケット ワッシャ(大) フランジナット キャリッジボルト	2 2 2 2	すすぎタンクを取り付けます。
3	すすぎ用ノズル アセンブリ すすぎノズル・ホースバープ プラスチック製フランジナット	2 2 2	すすぎ用ノズルを取り付けます。
4	すすぎポンプ取り付けブラケット すすぎポンプ キャリッジボルト フランジナット ワッシャ(小) ボルト ポンプのホースバープ	1 1 2 2 4 4 2	ポンプを取り付けます。
5	すすぎフィルタホース・アセンブリ T字フィッティング 124.5 cm ホース 48 cm ホース ホースクランプ すすぎポンプカバー ヘアピン	1 1 1 2 8 1 2	ホースとフィルタを取り付けます。
6	ダッシュボード・スイッチ	1	ダッシュスイッチを取り付ける。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 散布車を平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、ポンプとエンジンを停止し、キーを抜き取る。
2. タンクと配管内部に残っている液体を排出する。詳細についてはオペレーターズマニュアルを参照のこと。

注 液剤を排出した後でも、ホースの一部に薬剤が残っている可能性がありますから、ホースを取り外す際には十分に注意し、またバケツなどを用意しておいてください。

3. シートベース・アセンブリのパネルを外して、すすぎタンクのレストブラケットを露出させる。

▲ 注意

農薬は人体に危険を及ぼす恐れがある。

- ・ 農薬を使う前に、農薬容器に張ってあるラベルをよく読み、メーカーの指示を全て守って使用する。
- ・ スプレーを皮膚に付けない。万一付着した場合には真水と洗剤で十分に洗い落とす。
- ・ 作業にあたっては保護ゴーグルなど、メーカーが指定する安全対策を必ず実行する。

2

すすぎタンクを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	すすぎタンクのブラケット
2	ワッシャ(大)
2	フランジナット
2	キャリッジボルト

すすぎタンク用固定ベルトの固定金具を取り付ける

1. タンク前部固定ベルトをタンク上部に固定している締結具を外す。再利用するので捨てな

いこと。Rクランプを固定していた短いキャリッジボルトとナットは廃棄する。

2. タンク前部固定ベルトの内側の穴にキャリッジボルト(2本)を取り付ける(図2)。

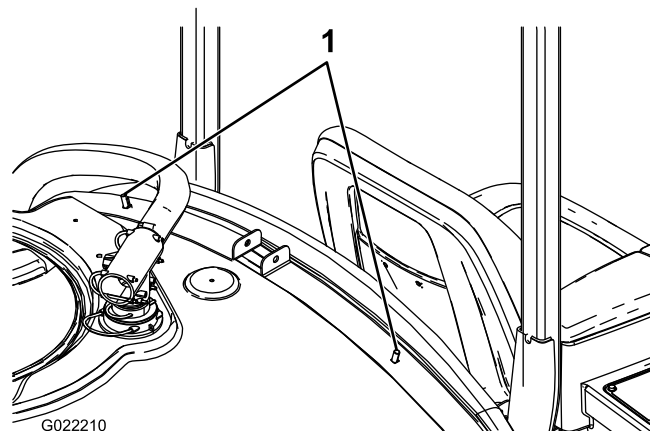


図 2

1. キャリッジボルト

3. 先ほど外した、タンク固定ベルト用の締結具を使って、タンク固定ベルトをタンクに固定する。

ベルトがタンクに確実に固定されていることを確認する。締めすぎないように注意すること。

すすぎタンクを取り付ける

1. 運転席後部の、すすぎタンクを取り付ける場所についているガードを取り外す。
2. すすぎタンクを取り付ける(図3)。

注 真水タンクを取り外す必要があるかもしれません。

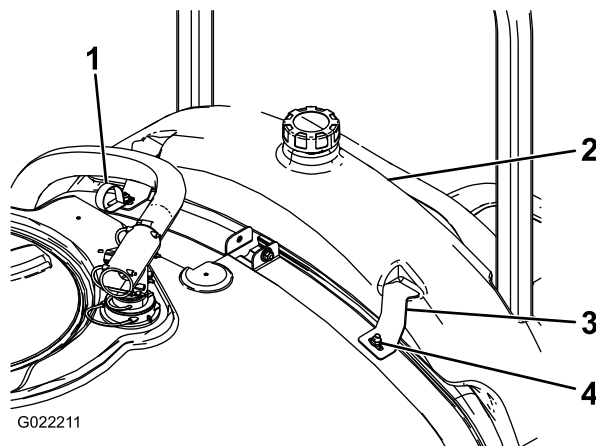


図 3

1. Rクランプ
2. すすぎタンク
3. すすぎタンクのブラケット
4. 大きいワッシャとフランジナット

3. 大きいワッシャ2枚とフランジナット2個を使って、すすぎタンクブラケットとRクランプ

を、先ほど取り付けしたキャリッジボルトに取り付ける（図 3）。

注 すすぎタンクに水を一杯に入れると、水の重量のためにタンクがさらに沈む場合がありますので、タンク固定ベルトの状態をもう一度点検し、必要に応じて増し締めを行ってください。

3

すすぎ用ノズルを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	すすぎ用ノズル アセンブリ
2	すすぎノズル・ホースバーブ
2	プラスチック製フランジナット

メインタンクに穴を開ける

1. タンクの蓋を開けてフィルタバスケットを取り外す。
2. メインタンクについているドリルマーク（2つ）を探し出す（図 4）。

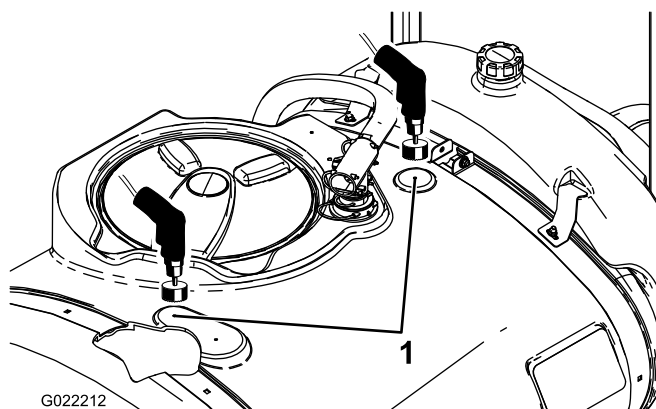


図 4

1. ドリルマーク

3. 4 cm の円形ノコを使って、それぞれのマークのところに穴を切る。

注 ドリル作業時に出る削りかすを回収するために、タンクの内側の、ドリルで穴を開ける位置の下に回収容器を取り付けてください。

重要 タンク内部に削りかすなどを残すと配管を詰まらせるなどのトラブルが発生する可能性が高くなります。

すすぎ用ノズルを取り付ける

1. 図 5 のようにすすぎ用ノズル2個を取り付ける。

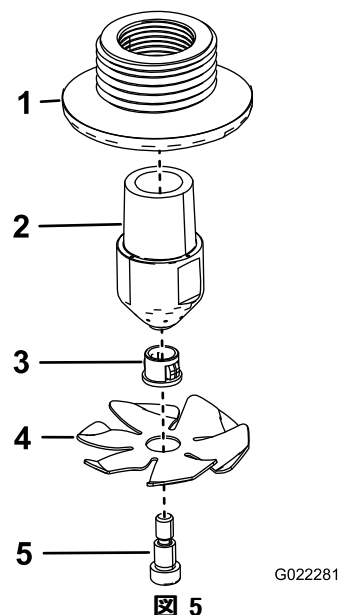


図 5

1. バルクヘッド・フィッティング
2. すすぎ用ノズル
3. ブッシュ
4. すすぎペーン（羽根車）
5. ショルダボルト

2. 先ほどあけた穴の下から上へ、ノズル・アセンブリを通して取り付ける（図 6）。

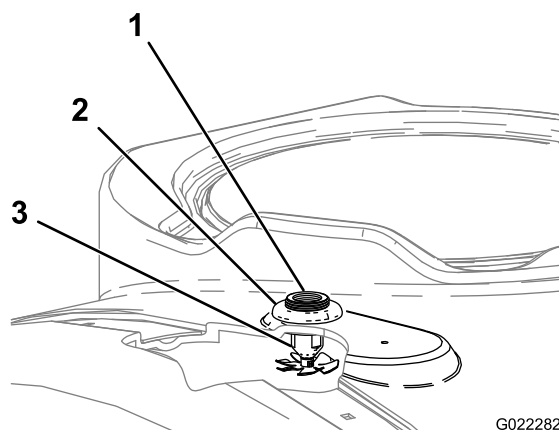


図 6

1. バルクヘッド・フィッティング
2. プラスチック製フランジナット
3. すすぎノズル・アセンブリ

3. タンク上部のバルクヘッドのねじ山に、プラスチック製フランジナットを取り付ける（図 6）。バルクヘッドのフィッティングとタンクの下との間のシールが正しく入っていることを確認する。
4. すすぎノズル・バルクヘッドの、ねじ切りされている開口部にすすぎノズル・ホースバーブ（2個）を取り付ける（図 7）。

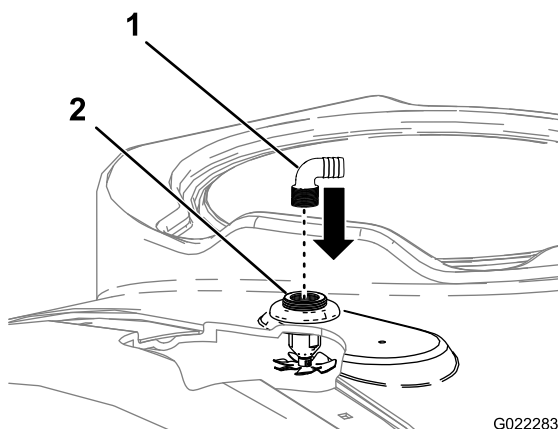


図 7

G022283

1. 90度フィッティング 2. すずぎノズル・アセンブリ

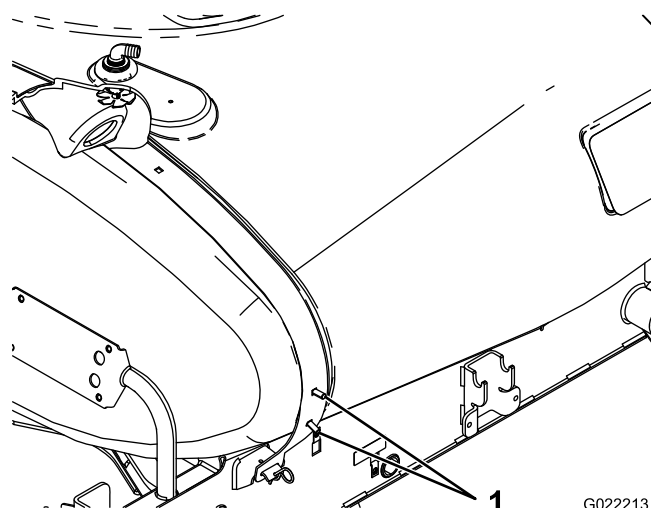


図 8

G022213

1. キャリッジボルト

5. ホースのバーブ（鋸歯部）を、機体右側中央部に向ける。

4

ポンプを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	すずぎポンプ取り付けブラケット
1	すずぎポンプ
2	キャリッジボルト
2	フランジナット
4	ワッシャ（小）
4	ボルト
2	ポンプのホースバーブ

手順

1. タンク後部固定ベルトをタンク上部に固定している締結具を外す。外した部品は捨てないこと。
2. タンク固定用後部ベルトの右側の内側の下の穴にキャリッジボルト（2本）を取り付ける（図 8）。

3. 先ほど外した、タンク固定ベルト用の締結具を使って、タンク固定ベルトをタンクに固定する。

ベルトがタンクに確実に固定されていることを確認する。締めすぎないように注意すること。

4. 先ほどとりつけたキャリッジボルトに、すずぎポンプ取り付けブラケットを取り付ける；フランジナット2個を使用する（図 9）。

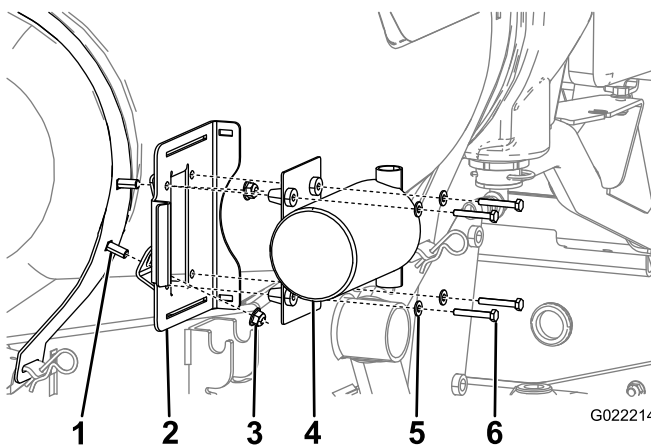


図 9

G022214

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. キャリッジボルト | 4. すずぎポンプ |
| 2. すずぎポンプ取り付けブラケット | 5. ワッシャ（小） |
| 3. フランジナット | 6. ボルト |

5. ポンプのホースバーブは 図 10 のように取り付ける。

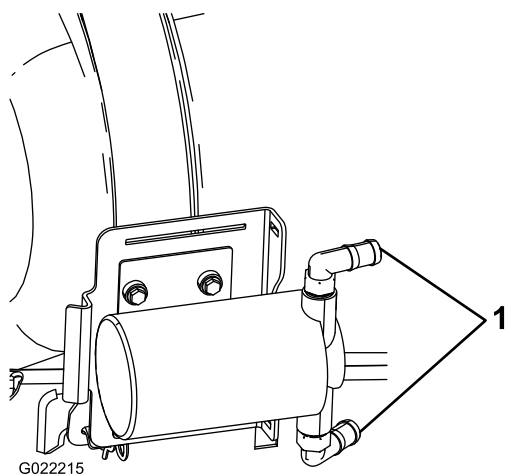


図 10

1. ホースバーブ

6. ポンプをフレームに固定する；ボルト 4 本、小さいワッシャ 4 枚を使用する（図 9）。
7. ポンプのワイヤハーネスを、機体後ろ近くにあるメインワイヤハーネスに接続する。

5

ホースとフィルタを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	すすぎフィルタホース・アセンブリ
1	T字フィッティング
1	124.5 cm ホース
2	48 cm ホース
8	ホースクランプ
1	すすぎポンプカバー
2	ヘアピン

すすぎノズル用ホースとT字フィッティングを取り付ける

注 ホースフィッティングの端部（鋸状になっている）に植物油などを塗っておくと楽に接続することができます。

1. 先ほど取り付けたすすぎノズル・ホースバーブに、それぞれ 48 cm ホースを取り付ける；ホースクランプ2個を使用する（図 11）。

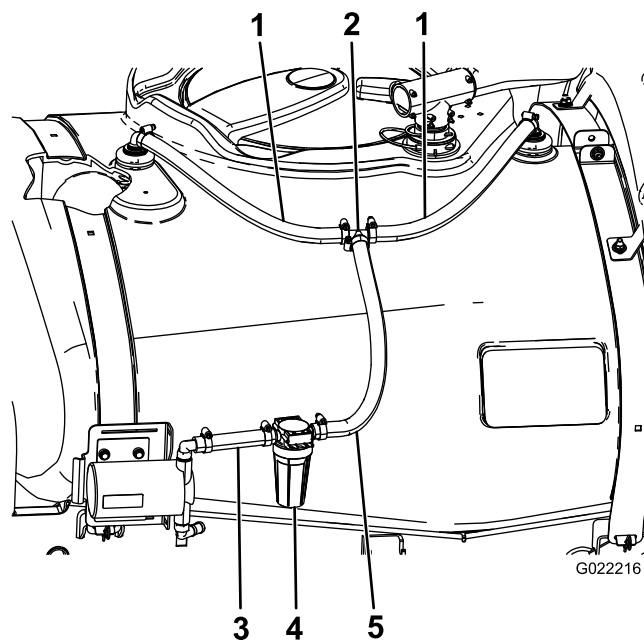


図 11

1. 48 cm ホース
2. T字フィッティング
3. 15 cm ホース
4. すすぎポンプ用フィルタ
5. 53 cm ホース

2. ホースの自由端を、T字フィッティングに接続する；ホースクランプ（2個）を使用する（図 11）。

すすぎフィルタを取り付ける

1. すすぎフィルタホースの長い方の端を、T字フィッティングに取り付ける；ホースクランプを使用する（図 11）。
2. すすぎフィルタホースのもう一方の端を、すすぎポンプの上側ホースバーブに接続する；ホースクランプを使用する（図 11）。

すすぎタンク用ホースを取り付ける

1. すすぎタンクホースを、タンク前部固定ベルトとタンクの側面との間に通す（図 12）。

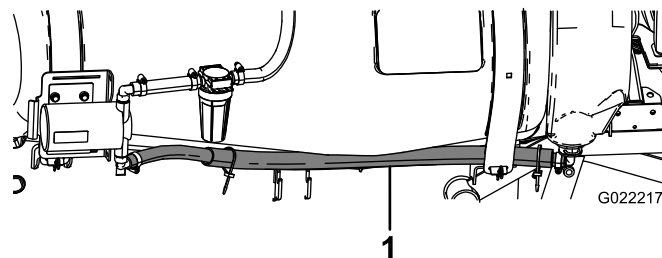


図 12

1. 124.5 cm ホース
2. すすぎタンクのホースバーブ（鋸歯状）を、バルクヘッド・フィッティングに取り付け、リテーナフォークで固定する（図 13）。フィッティングを回して後ろ向きにする。

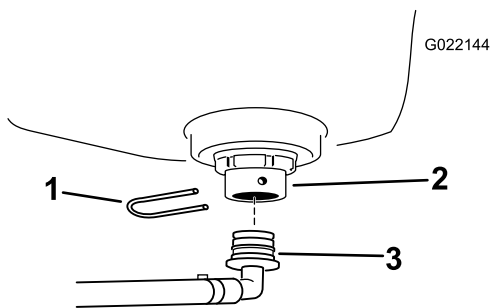


図 13

1. リテーナフォーク
2. バルクヘッド・フィッティング
3. すすぎタンクホースバープ

3. ホースの端部を、すすぎポンプの下側ホースバープに接続する；ホースクランプを使用する（図 12）。
4. ポンプの上からポンプカバーを取り付け、ヘアピン2本で固定する。

6

ダッシュスイッチを取り付ける

この作業に必要なパーツ

- | | |
|---|--------------|
| 1 | ダッシュボード・スイッチ |
|---|--------------|

ダッシュボード・スイッチを取り付ける

1. スプレーヤのコンソール側面で、すすぎタンク用スイッチのプラグ（打ち抜き部）を探し出す（図 14）。

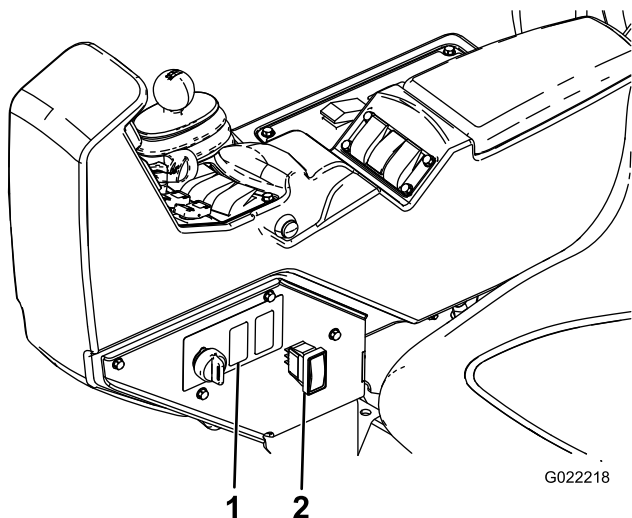


図 14

1. ダッシュボード上の穴
2. ダッシュボード・スイッチ

2. パネルをコンソールに固定しているボルトを外す。ボルトは捨てないこと。

3. メインハーネスの中から rinse tank と書かれたボックス型のコネクタを探し出し、これを、コンソールアームの側面にある穴へ配設する。
4. ボックス型コネクタにスイッチを取り付ける（図 14）。

注 スイッチの方向に間違いがないことを確認する；上側を押したときには作動したまま、下向きに押すと作動停止となるのが正しい。

5. スイッチをダッシュボードに押し込むようにして取り付ける。
6. 先ほど取り外したボルトを使用して、コンソールパネルをコンソールに固定する。

運転操作

タンク洗浄リンス・キットの使用 方法

このタンク洗浄すすぎキットを使用すると、タンク内にすすぎ液、すなわち、残存薬剤の薄い液が得られます。多くの場合、すでに薬剤を散布し終わった場所にこの薄い薬剤を散布することに問題はありませんが、しかしながら、様々なケースが考えられますので、すでに薬剤を散布し終わった場所に、薄い薬剤を散布することで薬剤の効果に悪影響がでないかどうかを、事前に薬剤メーカーに確認するようにしてください。

重要 水和剤を使用する時、水和剤をメインタンクに正しい方法で投入しないと、剤を配管などに詰まらせてしまう可能性があります。このタンク洗浄すすぎキットは、そのような詰まりを除去するためのものではありません。

各部の名称とはたらき

タンク洗浄すすぎキットは、1個のスイッチ（3ポジション）で操作します。

- ・ **上位置**：すすぎポンプが ON になり、スイッチはこの位置でロックし、遅延タイマーが作動します。
- ・ **ニュートラル**：すすぎポンプは OFF になり、スイッチは中間位置になります。
- ・ **下位置**：すすぎポンプが ON になりますが、スイッチを手でこの位置に保持しないとポンプは停止します；遅延タイマーは作動しません。

スイッチを **上** 位置にするとタイマーによる自動すすぎが行われます。ポンプが 60 秒間作動し、すすぎタンクの約 1/3 の量の水がメインタンクに送られます。この間、スイッチは上位置にあります。60秒後に、ポンプは停止します。スイッチ自体は上位置のままですので、手動で中央位置または手動位置に動かしてください。

スイッチが **ニュートラル** 位置にある時は、ポンプに通電されないで、すすぎキットは OFF 状態です。

スイッチを **下** 位置にすると手動すすぎが行われます。スイッチを押している間だけ、ポンプが作動します。スイッチから手を離すと、スイッチはニュートラル位置に戻り、ポンプは停止します。スイッチを下位置に保持している間、ポンプが作動します。

タンクに水を入れる

平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、ポンプとエンジンを停止し、キーを抜き取る。

すすぎタンクのキャップを外し、タンクに一杯（約 66 リットル）の真水を入れてください。キャップを元通りに取り付けます。

重要 すすぎタンク（66 リットル・タンク）にはきれいな真水以外はいれないでください。真水以外のものを入れると、安全上の問題や、装置の不具合が発生する可能性があります。

すすぎサイクルの操作方法

すすぎサイクルを使用すると、移動走行を行いながらすすぎを実行することができます。

1. すすぎポンプを ON にする：
 - ・ タイマーによる自動すすぎを行う場合には、スイッチを上位置にセット。
 - ・ 希望する時間だけポンプを作動させたい場合にはスイッチを下位置に押す。
2. タンクに約 22 リットルほどの水が入ったところを見計らって、攪拌スイッチを ON にして攪拌ループに真水を送るとよい。
3. すすぎが終わったら、液は、法律に従って処分する。処分方法としては：
 - ・ メインタンクが空になるまで、すすぎ液をブームから散布する。
 - ・ または、メインタンクのドレンバルブを開いて、適切な容器にすすぎ液を回収して処分する。

このすすぎサイクルを、あと 2 回繰り返すことができます。

保守

すすぎポンプのフィルタを点検する

整備間隔： 使用開始後最初の 5 時間

50 運転時間ごと

フィルタに破損の兆候がないか点検してください。
破損している場合には交換してください。

すすぎシステムに漏れや破損がないか点検する

整備間隔： 使用することまたは毎日-ホースから液もれがないか点検してください。

使用開始後最初の 5 時間-ホースに破損がないか点検する。

100 運転時間ごと-ホースと O リングに破損がないか点検してください。

最初の 5 運転時間後、すべてのホースについて、漏れの有無および破損の兆候がないか点検してください。ホースのクランプと、リテーナフォークを点検してください。どの接続部もゆるみがないことを確認してください。破損している部品はすべて交換してください。以上の点検を、すすぎシステムを使用する前に毎回実施してください。

100 運転時間後、全部のホースと O リングを点検してください。破損している部品はすべて交換してください。

交換部品についてはトロ社代理店にご連絡ください。

すすぎタンク固定ベルトの点検

整備間隔： 使用開始後最初の 1 時間-すすぎタンク固定ベルトを点検してください。

メインタンクに水を入れ終わったら、タンク固定ベルトにゆるみがないかどうか点検してください。ベルトにゆるみがある場合には、ベルトの上部にある締め具を締めてベルトとタンクとが面一になるようにします。締め付けすぎないようにしてください。

重要 ベルトを締め付けすぎると、ベルトが変形したり破断したりする可能性があります。

保管

格納期間が30日間以上にわたる場合には、ポンプの吸水ライン、吐水ライン、およびフィルタラインを外してください。

メモ:



Toro 製品の総合品質保証

限定保証

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワランティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品（「製品」と呼びます）の材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されます（エアレータ製品については別途保証があります）。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店（ディストリビュータ又はディーラー）に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません：

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクセサリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。オペレーターズマニュアルに記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリング（シールドタイプ、グリス注入タイプ共）、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャストホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、その他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料（ガソリン、軽油、バイオディーゼルなど）を使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店（ディストリビュータまたはディーラー）へおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。

- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類（「部品」）は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するか判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルおよびリチウムイオン・バッテリーの保証：

ディープサイクル・バッテリーやリチウムイオン・バッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量（kWh）が決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなっていきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。
注：（リチウムイオンバッテリーについて）：リチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後 3-5 年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証（補償額逦減方式）となります。さらに詳しい情報については、オペレーターズマニュアルをご覧ください。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生する間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

エンジン関係の保証について：

米国においては環境保護局（EPA）やカリフォルニア州法（CARB）で定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧ください。